

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 保健体育 】

項目	書名 新編 新しい保健体育 (東京書籍)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	○基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、「今日の学習」で学習の目標を明確にし、習得状況を確認しながら学習活動を進めるようになってきている。 ○思考力・判断力などを育成するために「考えてみよう」の項目を提示し、考える、話し合う、発表するなどの活動を通して、知識を確実に習得し、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになってきている。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○見開き2ページを1単位時間で学習することを基本とし、学習の流れを見通し、ワークシートとしても活用できる構成になっている。また、「キーワード」で学習するポイントがわかり、章末の「学習のまとめ」で自己評価できるので、基礎的・基本的な知識の定着が図れるようになってきている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○「考えてみよう」では、習得した知識を活用して、課題解決する活動につなげることで、実践に生かせるようになってきている。 ○「活用の問題」で考えたり調べたりすることで、思考力、判断力の育成を図るようになってきている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○インターネットで学習できるところが「D」のマークで表示されており、興味ある内容を自分で学習し、発展させることができるようになってきている。 ○各ページの欄外にクイズと解答があり、主体的に学習に取り組めるようになってきている。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫> ○運動の必要性や楽しさ、心身に及ぼす効果がわかりやすい資料を用いて説明されている。 ○運動・スポーツのルールやマナーを尊重することの大切さが示されており、運動に親しむ資質や能力を育成するための工夫がされている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫> ○学習したことを自分の生活に生かせる「生かそう」という項目があり、自分の健康についてより深く考えられるようにイラストやグラフが工夫されている。</p>
色	資料 ○口絵はスポーツの素晴らしさを実感できる、ダイナミックな資料が掲載されている。 ○学習内容の理解が深められるように、各章末に「章末資料」「確認の問題」「活用の問題」「学習のまとめ」「読み物」の資料が掲載されている。 ○学習に関連のある情報やホームページが紹介されている。
色	表記・表現 ○「今日の学習」→「やってみよう」→「本文」→「考えてみよう」→「生かそう」という流れで構成されている。9種類のマークで標記が工夫されている。 ○学習の「キーワード」や資料を読み取る「ポイント」が欄外に示されている。 ○他ページとの関連を示す「リンク」や他教科との関連を示す「他教科」が設けられている。
色	総括 体育理論が、各学年の保健編に続くページにあり、各学年で学ぶことがはっきりしている。章の扉には、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。「今日の学習」「やってみよう」「本文・資料」「考えてみよう」「生かそう」という学びの道筋が見える構成になっている。章末資料、確認の問題、活用の問題、学習のまとめや自己評価の欄がある。子どもたちにとって、ねらいが明確であり、生徒の言葉でまとめる学習に活用できる教科用図書である。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 保健体育 】

書名		新版 中学校保健体育 (大日本図書)
項目		
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり		○基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、「今日の学習課題」で学習の目標を明確にし、本文に即した資料を使って学習活動を進めるようになっている。また、思考力・判断力などを育成するために「学習を活かして」の項目を提示し、実生活において活用するための具体的な課題を示すことで、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになっている。
特色	特 内 容	<基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○学習の冒頭で「今日の学習課題」「考えよう」に沿って学習をスタートする構成になっている。知識の定着を図るため、各小单元においてキーワードで学習内容の振り返り、各章末では重要語句や要点の再確認ができるようになっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○各单元のはじめに「考えよう」という課題があり、身近なところから考えさせることで思考力・判断力の育成を図っている。 ○各小单元に「学習を活かして」という項目があり、習得した知識を実生活に活用するための具体的な課題を示している。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「この教科書で学習するみなさんへ」で、学習内容に見通しがもてるようになっている。 ○章末資料「トピックス+」は学習内容以外のことにも触れているので、更に学習を深めたい場合には、自主的に取り組むことができるようになっている。 <生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫> ○「スポーツの文化的意義」や「生涯スポーツ」について具体的に書かれている。 『学習を活かして』では「生涯スポーツのすすめ」というテーマでリーフレットを作ってみましょう。というように具体的に考えさせる工夫がされている。 ○運動・スポーツを行うことによる心身や社会性の発達について示されており、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。 <健康の保持増進のための実践力を育成する工夫> ○各章の最後に「発展」を設けることで生活上の課題解決や応用を図るために役立つ様々な課題や知識を提示して、より高い実践力を養うことができるようになっている。 ○各小单元末に設定してある「学習を活かして」は小单元での学習内容を活用するための具体的な作業課題を示し、実生活において活用することができるようになっている。
	資 料	○ワイドな見開き構成で、生徒が行動に照らし合わせて考える例示、科学的なデータ、理解を補う図を資料としている。 ○アスリートや中学生がスポーツで活躍している場面や、中学生の親しみのもてる場面の写真を掲載している。また、災害などの資料に写真が多く用いられており、現実を正確に伝えている。 ○学習内容をより深める「トピックス」や章末の「トピックス+」が設けられている。
	表 記 ・ 表 現	○「学習課題」⇒「考えよう」⇒「本文と資料」⇒「学習を活かして」という流れで構成されている。その他のマークは8種類ある。 ○章末には、資料と学習のまとめ(重要な言葉・学習の要点)があり、大きなイラストや図が多く取り入れられている。 ○関連する学習ページを「リンク」として設けている。
総 括		各章のはじめに「この章で学習すること」として、その章の課題と学習の流れが示されている。ワイドな見開き構成となっている。習得すべき基本用語を強調文字と「キーワード」として示している。各章末では重要語句や要点の再確認ができるようになっている。体育編、保健編とも各リンクにおいて相互に関連するページを示し横断的な学習をするようになっている。子どもたちにとって、ねらいを明確にした学習や体育編、保健編との関連した学習に活用できる教科用図書である。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 保健体育 】

書名	保健体育 (大修館書店)	
項目		
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	○基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、短い問いかけで学習への動機付けをするとともに学習内容を明確にして、学習を進めるようになっている。 ○思考力・判断力などを育成するために項末課題「Try」を設けている。各章の最後に「学習のまとめ」、復習、生活への応用学習の発展ができるようにすることで、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになっている。	
特色	内容 ○各章のはじめに、中学生が抱く疑問を掲げ、その章で学ぶことを大きくつかむことができ、学習の冒頭に「Question」を設け学習の動機づけができるようになっている。学習を進めるにあたってのポイントとなる重要語句を太字にするとともに、学習項目を代表する概念を「キーワード」にまとめている。 ○各章末には「学んだことを振り返ってみよう」の項目を設け、振り返る学習をするようになっている。 ○各学習項目の最後に、作業課題「Try」が設けられており、思考力・判断力等の育成とともに、習得した知識を活用できる内容になっている。 ○習得した知識を活用し、思考力・判断力等の育成が図られるよう、自分の生活にあてはめて考える「Challenge」や「活用」が設定されている。 ○学んだことを深めたり、発展させたりするために「活用」という作業課題が示されている。また、主体的に学習に取り組めるよう本文に関連した話を「コラム」、「事例」、「URL」として設けている。 ○年齢が上がってもスポーツに親しんでいる現状がわかる資料を多く掲載したり、「現代生活におけるスポーツの意義」、「生涯スポーツの意義」、「生涯スポーツの実践」などを具体的に示している。 ○運動やスポーツの中でより良い人間関係を築くことの大切さが示されており、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。 ○「Try」や「Challenge」など、学んだことを生かして実践する力を育成する項目が設けている。 ○体育理論のページの「コラム」には、健康の保持増進のための方法などが多く紹介されている。	
	資料	○「コラム」「事例」で身近な題材を取り上げ、学習内容を深めることができるよう工夫がされている。 ○各章末には学習内容の理解が深められるように、「学習のまとめ」が設けられている。 ○欄外にホームページのURLを掲載し、調べ学習や発展的な学習が提示されている。
	表記・表現	○本文部分には黄色の下地を敷き、学習内容により、イラストやデザインを使い分けている。 ○ポイントの語句が太字で書かれて強調されていたり、図表や資料などに吹き出しを加えて説明したりしている。 ○本文の説明を補足する「注」を本文の横におき、本文につけられた番号と対応している。
総括	各章のはじめには、章のタイトルや項目名とともに、内容に関連する問いが掲げられていて、その章で学ぶことを大きくつかむことができるようになっている。科学的な根拠を踏まえた学習内容が重視され、関連する図表や写真が示されている。章末には学んだことを「振り返ってみよう」、「生かそう」、「広げよう」と学習のまとめのページが設定されている。子どもたちにとって、各項目の終わりに Try で、身近な問題として考える学習に活用できる教科用図書である。	

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 保健体育 】

書名 項目	新中学 保健体育 (学研)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none">○基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、「学習の目標」で学習内容を明確にし、本文に即した資料を使って学習活動を進めるようになっている。○思考力・判断力などを育成するために「活用しよう」の項目を提示し習得した知識を活用することで、健康の保持増進のための実践力の育成を図っている。
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○学習の冒頭に「学習の目標」を提示し、学習内容を把握し見通しを持った学習ができるようにしている。また、「ウォームアップ」や資料、「エクササイズ」を設け基礎基本の知識の習得と活用、探究、振り返り学習までの進め方がひとめでわかるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○考える、話し合う、教え合う課題がマークで示されているので、積極的な授業を展開することができるようになっている。○「活用しよう」の項目では、習得した知識を生かして、学習することができるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○「教科書の使い方」で、躓いたところを再確認するようになっている。追加して考える「プラス」、参考になる「ウェブサイト」、興味ある内容を更に学習できる「発展」等がマークで分かりやすく示されており、主体的に取り組めるように工夫されている。 <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○「スポーツの効果と安全」では、スポーツが体と心に及ぼす効果をより具体的に示し、生涯にわたって運動に親しむ大切さを学習できるようになっている。○運動やスポーツを行うことで、ルールやマナーを守ることや他者を尊重することの大切さについて示され、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。 <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○各章の中に「活用しよう」という欄があり、実践力の向上のために考えさせる設問がある。エクササイズという欄では、日頃の自分の生活を振り返る設問がある。
色 資 料	<ul style="list-style-type: none">○習得した知識を活用する課題、資料を読み解くための課題や実験や実習、作業など生徒の活動を引き出す課題を設定されている。○「情報サプリア」「リンク」など、学習内容に関連の深いプラスの情報や知識を提供するなど工夫されている。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none">○本文の位置をページ左側に固定し、常に同じ視線の流れで学ぶことができるように工夫されている。また、本文中の資料へのガイドをマークにして、本文と資料の関連が図られるよう工夫されている。○「学習の目標」→「ウォームアップ」→「本文と資料」→「エクササイズ」→「活用しよう」という流れで構成されている。その他のマークは11種類ある。
総 括	<ul style="list-style-type: none">○章の扉に小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。基礎的・基本的な知識の習得とその活用・探求に重点を置き、「学習の目標」、「本文・資料」、「活用しよう」という流れで構成されている。「探求」は課題を見つけて取り組む資料がある。章末のまとめで、繰り返し学習及び習得した知識を活用する課題と自分の生活への活用の記入欄を設けている。子どもたちにとって、ねらいを明確にし、基礎的・基本的な知識の習得と発展を図る学習に活用できる教科用図書である。